

松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第28回〕会議録

1. 附属機関等の会議の名称 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第28回〕

2. 開催日時 令和6年1月10日（水） 19時00分から20時15分まで

3. 開催場所 松川町役場 2階 大会議室

4. 出席者氏名

【松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員】※敬称略

松下重幸、佐藤和司、小嶋喜美雄、宮下保、大澤勲、福澤友安、唐沢寛文、
下澤義彦、坂本勇治、塩沢貴浩、中平文夫、松下敏章、小澤文人、矢澤良一、
熊谷誠、増澤あけみ、熊谷彰展、松浦善文、知久克志、細川容宏

【JR東海】

中央新幹線名古屋建設部 古谷担当部長

中央新幹線長野工事事務所 杉浦所長、小池副所長、村中副長、黒澤係長、
齋藤主任

// 大鹿分室 水上分室長、水野主任

【長野県】

飯田建設事務所 リニア整備推進事務所 大島企画幹兼調整課長、井原課長補佐

【役 場】

北沢町長、黒澤副町長、小沢課長、大蔵主任

5. 議題

(1) リニア中央新幹線トンネル発生土の利活用について

町より

- ①福与河原圃場整備事業について
- ②前河原道路（仮称）新設事業について
- ③町内検討箇所の状況

（丸ボッキ、青年の家グラウンド）

(2) 発生土運搬について

JR東海より

- ①大鹿村内リニア工事進捗状況
- ②発生土運搬車両の運行状況
- ③令和6年度にかけての発生土運搬計画
- ④その他

(副委員長)

改めまして皆さんあけましておめでとうございます。副委員長の松下であります。よろしく申し上げます。本日はお疲れのところ、またお寒い中お集まりいただき、大変ありがとうございます。ただいまから第28回松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会を始めます。よろしく申し上げます。

(事務局)

それでは2番の挨拶ということで中平委員長お願いいたします。

(委員長)

改めましてあけましておめでとうございます。今年も1年間よろしく申し上げます。ご存知のように元日に能登半島での地震が発生して毎日報道で報道されている通りであります。非常に悲惨な状況で、行方不明者も含めて、多数の方が犠牲になられておるということで、心からお見舞い申し上げます。

詳しいことは報道等で皆さんの方がご存知かと思いますが、議会でも石川県には何回も視察研修に行っており、他人事ではないような状況になっております。10月にも議会では、広域連合で富山県高岡市へ視察に行っております。リニアの長野県駅(仮称)に少しでも役立つことがあると思い北陸新幹線高岡駅を視察させていただきました。そんなわけで議会でもあちらの方に研修等々に行っておりますので、他人事とは思えないということで、今日全員協議会の中でもお話をさせていただきました。自分ごととして考えて、松川町でももし、ああいうことがあったらどうなるか切実に考えております。また、今日の全員協議会では、議会でも松川町でも同様の事態が起きた場合にどうするというのも含めて、みんなで協議させていただいたところでもあります。いずれにしても、非常に大きな大惨事であるということで身を引き締めて防災についてもやっていかなきゃいけないと思います。

今日の議題としては、2つほど挙げさせていただいております。ぜひ皆さんの忌憚のないご意見をいただきながら進行させていただきたいと思っておりますので、2つよろしく申し上げます。今日はよろしく申し上げます。

(事務局)

続きまして北沢町長お願いいたします。

(町長)

明けましておめでとうございます。本日はお疲れのところ対策委員会ということで、お仕事の後また、年始のお忙しいなかお集まりいただきまして大変ありがとうございます。今委員長も発言された通り、能登の大地震が元日にございました。

亡くなられた皆様に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げたいと思います。1日も早い復興を願うところでありますし、松川町としましても、職員の派遣の体制が整っているところでございますので、県の指示のもと、そのときにはまた派遣をしてみたいと思っております。

また日頃は町政に対しましてご支援いただいておりますこと、重ねて感謝申し上げたいと思います。また本日から公募委員ということで、3名の皆様にお世話になることとなります。2年間よろしくお願ひしたいと思っております。

また、JR 東海からは古谷担当部長、杉浦所長を初め JR 東海の皆様、それから長野県職員の皆様、大変お忙しいなかお越しいただきましてありがとうございます。懸案事項2点ございますが、しっかりと協議をするなかで進めてまいりたいと思っておりますので、またご協力のほどよろしくお願ひ申し上げまして挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)

はい。続きまして JR 東海より、中央新幹線建設部名古屋建設部古谷担当部長お願ひいたします。

(JR 東海)

どうも改めまして、あけましておめでとうでございます。本年もよろしくお願ひします。JR 東海の長野県担当部長の古谷でございます。本日も皆様の貴重なお時間、ご説明の機会をいただきまして誠にありがとうございます。

また日頃より委員会の皆様には、このリニア中央新幹線事業の推進にあたりまして、ご理解とご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

さて、リニア中央新幹線の事業ですが、昨年の12月14日に全国新幹線鉄道整備法の手続として、工事実施計画その3の認可申請を行い、同じく12月28日に国土交通大臣より認可をもらいました。これは車両基地の建築工事等に取りかかる段階が来ており、当該工事の着手には、工事実施計画の認可を受ける必要があるため認可申請をしたものでございます。今回認可を受けた中で、工事完了の予定時期、すなわち品川-名古屋間の開業時期につきましても変更いたしました。

従来から申し上げている通り、南アルプストーンネル静岡工区のトンネル掘削工事にまだ着手の見込が立たない状況であるため、令和9年(2027年)の開業が困難であります。このため申請書には「令和9年(2027年)以降」とし、実態に合わせる形で変更いたしました。

現時点で新たな開業時期を見通すことができない状況ではございますが、工事による生活環境への影響をおかけしておりますので、引き続き可能な限り早期の開業を目指し、長野県内の工事はペースダウンすることなく全力で取り組んでまいります。

今後も対策委員会の皆様、そして松川町の皆様とはコミュニケーションをしっかりと図って事業を進めてまいりますので、引き続きご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。今晩もどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして長野県より、飯田建設事務所リニア整備推進事務所調整課大島課長、お願いいたします。

(長野県)

皆様、あけましておめでとうございます。長野県飯田建設事務所リニア整備推進事務所調整課長大島と申します。対策委員の皆様には、長野県の建設行政につきまして、多大なるご理解とご協力を賜りまして、本当にありがとうございます。

並びにリニア中央新幹線の事業につきましても、格別のご配慮を賜っておりまして誠にありがとうございます。私どもの方からも御礼申し上げるところでございます。本日も担当と2人で出席しております。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

それではこれより会議事項に入りますが、対策委員会設置要綱第5条に、会議は委員長が議長となることから、中平委員長の進行でお願いをいたします。

(委員長)

はいそれでは3の会議事項に早速入りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは両括弧1の「リニア中央新幹線トンネル発生土の利活用について」を議題とします。町より説明をお願いします。

事務局より、リニア中央新幹線トンネル発生土の利活用について説明

(委員長)

はいありがとうございました。関連がありますので、両括弧2の発生度運搬についても一緒に行いたいと思いますので、JR東海より説明をお願いします。

JR東海より資料に基づいて説明

(委員長)

はいありがとうございました。両方の説明が終わりましたのでこれから質疑に入りたいと思います。

ご質問等々のある方は挙手をさせていただいて、お願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。それではどなたかご質問のある方ございませんか。

(町長)

そうしましたら、私の方から2点お願いできればと思います。

福与の圃場整備事業につきましては遊休農地を作らない、それから大型機械によって農業を行えるように将来にわたって農地を守りたいという地元主体で計画を立てて参りました。その中でリニア発生土を利用するとはいえ、費用面におきまして、JR東海のバックアップがあってからこそその事業であり、改めてお礼を申し上げたいと思います。また前河原道路につきましては、平成13年に農道の整備事業が中止になって以来、20年以上が経過しております。この事業につきましても、大半をJR東海にご負担いただき、地元の懸案事項でありました、前河原地籍と古町上段地籍また国道への接続する新たな幹線道路を改築することとなり大変嬉しく思っております。この点につきましても重ねて感謝申し上げたいと思っております。この場をお借りしてJR東海へお礼を申し上げたいと思います。

2点目ですが、括弧2の発生土の運搬につきまして、松川町は以前から申し上げさせていただいてる通り、全てのダンプにおいて通過する町となっておりますので、今後とも安全な運搬に努めていただけるようお願いしたいと思っておりますし、今年のカレンダーの中では、土曜日にも運休していただけるということでただいま説明ございました。この点についても非常にありがたいと思っております。今後とも安全な工事推進をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(委員長)

はい。ただいま町長の方からJR東海さんのいろいろなことに関する謝礼のことでありましたのでよろしくお願いいたします。他の件でどなたかご質問等々がございましたら、ぜひお願いします。

(委員)

複数確認がございます。一つは、JR東海資料6ページですが、発生土の運搬車両台数1月から3月の日平均で、これ松川インターが40台とありますが、120台の間違いだと思うので、修正をお願いしたいと思います。また、その下に3月に伊那工業団地が完了予定ということであれば、松川インターを通る車が3月で終わるという理解でよろしいでしょうか。

(JR東海)

ご質問ありがとうございます。まず1つ目については修正いたします。また、伊那工業

団地への運搬が終わりますと、松川インターの通行がなくなるということになります。

(委員)

4月以降は町内の国道よりも西側については運搬がないという解釈でよろしいでしょうか。

(JR 東海)

現時点では、国道より西側は通行がなくなるという予定です。

(委員)

そうすると、町とJR 東海のお話と思いますが、護岸線から松川インター大鹿線、古町境の沢線も多少舗装等傷んだところがありますが、この補修について町から強くJR へ要望していただきたいなというお願いでございます。

また、町資料の6ページの前河原の道路改良ですが、国道自体が見通しの悪いカーブになっており、そこに交差点を作るのは、ちょっと危ないのかなという個人的な感想があるんですが、これについては県、それから公安委員会との協議が済んでいるという理解でよろしいでしょうか。

(委員長)

小沢課長お願いします。

(事務局)

先ほどの舗装補修の関係につきましては、現場の方をパトロールしまして、JR 東海と協議をさせていただきたいと思います。前河原道路につきましては、国道との交差点協議について、公安と建設事務所と交差協議について書類の方を提出させていただいております。

(長野県)

前河原道路につきましては、国道のカーブの付近での接続となっており、図面上に色はついておりませんが、国道部分の方も若干拡幅をして、安全な通行ができるようにというような形で協議をいただいております。

(委員)

ありがとうございます。次の対策委員会では前河原道路に関するもう少し詳しい図面をつけていただきたいなというお願いが1点です。

もう一つは、この会議の議事録が作られますが、近隣市町村の会議の議事録見ますと松

川だけが誰が発言したか記載があります。他市町村は、委員が発言したとなっています。今の時代、ちょっと2点問題があり、一つは誰が言ったか記録が残ると、議長がおっしゃったように、忌憚のない意見が言いにくくなるという面があるのと、変に名前が出ますと、売名行為になる可能性があるので、議事録を個人名ではなく、委員という記載にさせていただくよう事務局にお願いをいたします。そうすれば、議論も活発化するかなというふうに思いますのでぜひよろしくをお願いします。

(委員長)

ありがとうございます。ただいまの意見につきましては、この会議が活発にご意見をいただきたいと思っておりますので、今のようなご意見も非常に重要でありますので、ぜひ事務局の方で検討をお願いしたいと思っております。

(委員)

要望になりますけれども、国道153号線からの場橋へ上がるところの上り口の部分について、昨年側溝を鉄筋等が出ていたということで埋めてしまった経緯があります。雨が降ると、上り口のところに水溜りができて、次の日は凍ることがありました。今後、雪等が降った場合、上溶けして水がたまり、次の朝は凍るという状況が起きかねませんので、ご検討をいただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

(長野県)

ご指摘いただいた箇所は国道への取り付けの部分になり、国道の方からは外れていますが、現在の管理区分上は国道の一部というような形になっておりまして、県の方で管理していますので、また現場の方を確認させていただいて、できる対応をさせていただければと思います。

(委員長)

はい他にはございませんか。何なりとご意見等々ありましたら、せっかく出席していただいておりますので、ぜひご意見等々をお願いしたいと思っておりますけどいかがでございますか。

(委員)

福与河原圃場整備の関係で現状測量中であり、まだ計画もできてなくて当然進め方まで入っていないかと思っておりますが、この福与地区の中でも、福沢・中の村は、山からの雨排水がかなり天竜井水に入るので、工事期間中、そういった雨排水の関係は計画の中で問題がないようにお願いしたい。

この地権者の組合は既にできており、協議も図面ができてから進めていくと思っておりますが、

区域外の農地について、天竜井水路に隣接する道路からでないとい入れないので、工事期間中の数年の間入れないことのないように計画の方をお願いしたいなと思いますがいかがですか。

（事務局）

はい。その点につきまして、1月15日に組合ともお話をさせていただきますし、結果を決める前に、事前に地区外の皆様方にも説明会を開きたいと思っておりますので、またそのときにもいろいろ協議させていただきたいと思っております。

（委員長）

はい他にはいかがでありますか。農業委員、商工会の方から何かありませんか。

（委員）

議長の方からご指名ありましたので。松川町とは直接関係ないですが、先ほど古谷担当部長の方から、開業が令和9年以降っていうお話がありました。我々とすればなるべく早く開業してもらいたい気持ちはありますが、川勝知事の発言は我々、報道番組見ても理解できませんが、その辺の対策としてどうなのでしょう。あるいは、どのぐらいを目処に開業を思われているのか。

（JR 東海）

ご意見ありがとうございます。静岡の話は新聞報道でも出ていますが、正直南アルプストンネル静岡工区の着手がいつになるか見通しが立たず、リニアの開業時期も見通せない状況でございます。

ただ、松川町で一番ご負担ご迷惑をおかけしているのが発生土運搬になっております。発生土の運搬はトンネル工事をしている間発生しますので、大鹿村のトンネル工事について、全力で進めていくことには変わりないです。

ただ一方で、大鹿村のトンネル工事も、山が良なくて思った通りに進んでおらず、着手が若干遅れてしまったところもありますので、当初大鹿村のトンネルの掘削は2026年の11月ぐらいには終わらせたいと言っており、今大鹿村でも松川町と同じような協議会がありますが、大鹿村の協議会でもまずは2026年11月を目指してトンネル掘削を全力で進めていきますという話をしています。

ただ、今後、2026年11月が超えてしまうような見通しが出てきたら、改めて適切な時期に地元の方々にご説明をします、というお話をしておりますので、併せて松川町の皆様にはこの対策委員会の中でも、もしそういう時期が来れば、きちんとご説明をさせていただければと思っております。

(委員)

ありがとうございます。静岡工区まで掘っても、静岡側で許可が下りなければそこで止まって、残土の運搬も全て途中で待機という形になるのでしょうか。

(JR 東海)

静岡工区がまだできていなくても、長野県内の工事は、一応長野工区内の掘削が完了すれば工事は終了するので、静岡工区で長野工区を中断してまた掘削が始まることはないです。

(委員)

わかりました。ありがとうございました。

(委員長)

他にはいかがでございますか。交通安全協会の方々はいかがでありますか。

(委員)

リニア工事の関係を報道で拝見することがありますが、特に昨年新聞に労災隠しに関する記事も多く出ていたように感じております。

JR 東海の方で昨年は松川町に対し、子供たちの交通安全教室を開いていただいたりして、すごく協力的で助かっております。けどどこかで工事に関する事故があったことを隠されちゃうと色々思っちゃうことがあります。こういう会議の中でも結構ですので、そこら辺は何とか発表していただいて、その対策等をまた立てていただければと思っております。

それから今後寒くなると凍結路がたくさんできてきます。県外から来てる不慣れなダンプの運転手の方たちもおると感じておりますが、ぜひ冬寒いところの道の安全運転等をなお一層、お願いしておきたいと思っております。

(委員長)

はい。それでは今の交通安全の件で JR 東海様の方からお願いします。

(JR 東海)

ご意見ご質問ありがとうございます。

一つ誤解がありまして、JR 東海では労災を隠しておりません。JR 東海としては、交通事故や現場内の労働災害など作業員の怪我が発生したら、事柄によって県や当該の市町村にはきちんとご報告はしています。JR 東海ではきちんと連絡体制に基づいて、関係各所にはご連絡はしております。

隠している話があったのは、去年飯田市の中央アルプストンネル松川工区の工事現場内で、作業員が怪我をしましたが、その怪我をしたことを下請けの業者の中で、隠されてしまい、元請、まして発注者である鉄道運輸機構と、事業者である JR 東海は何も聞かされてないところで発覚して新聞に出たというものでございます。決して元請である戸田建設 JV、それから発注者である鉄道運輸機構、事業者である JR 東海に何も連絡が来なかったため、労災隠しが起きましたが我々は知ることができなかったものであります。

それはそれで問題点ということで、今後労災隠しが起きないように、JR 東海も発注者である鉄道運輸機構も、元請である JV も、下請に何かあったらきちんと報告するようという指導はきちんとやっていきたいと思っております。

（JR 東海）

ダンプの運転について、冬場の凍結についてはしっかりと教育させていただきます。今大鹿村内で工事は南アルプストンネルの方と伊那山地トンネル青木川工区と二つあり、ダンプの運転手も合わせて 100 人以上います。

運転手のほとんどがこの地域の冬を経験しており、今の時期では全てスタッドレスに替えて溝をしっかりと確認した上で走行しています。中には新しく入った運転手もいますので、そういった方には指導者が 1 人ついて、運行路を一通りちゃんと確認した上で実際の運転を行うようにしておりますので、これからも抜かりなく教育をしていきたいと思えます。

（委員）

私達みたいな運転の素人も同じ道を走っており、冬場の運転について心配しているので、どうかよろしくお願ひしたいと思えます。

それから先ほど JR 東海さんからは話は聞きましたが、いろんなことがオープンになって初めて、うまくいくのかなと思えますので、これからもよろしくお願ひしたいと思えます。以上です。

（委員長）

他にはいかがですか。

（委員）

今お話があったように、小学校の方に交通安全教室をやっていただいて、すごく本当にありがたかったなと思えます。町の方に聞くと、ダンプの運転もすごいマナー守られて運転される方が多い。と言われる方が多いので、すごいありがたいと思えます。ただ、ダンプが通る街であることは変わらないので、具体的にどういうことをしてほしいとは

言えませんが、例えば小学校の交通安全教室やるとか、ダンプの運転を安全にするのも当たり前のごとで、何か町に還元できることをどんどんやっていただけるとすごくありがたいし、ひいてはそれが JR 東海さんのいい評判繋がっていき、町民に理解してもらえることになっていくと思うので、小学校で交通安全教室をやってもらったのを一つの例として、これからもそういうことをできることはどんどんやっていただけるとすごくありがたいなと思います。

(委員長)

今はそんな要望ですけど、JR 東海様の方はいかがでございますか。

(JR 東海)

ご意見ありがとうございます。今後も引き続き、町ともご相談させていただきながら、対応させていただきたいと思います。

(委員長)

ありがとうございます。まだ何かいいアイデアがありましたらまたぜひお願いしたいと思います。

(委員)

自分もインターの下に住んでおり、トラックの運行に関しては大変丁寧に運転していただいて、大変助かっております。また子供も小学校におりまして、昨年の交通安全教室について、大変面白かったと言っております。4 月からまた新 1 年生も入ってきますので、またぜひ継続していただければ大変にありがたいと思っております。

今年は週休 2 日になるので、大鹿村での掘削が順調という受け止め方でいいのかを聞きたいと思います。要望になります。JR 東海資料のとおり現在の工事の状況を知らせてくださっておりますので、工事現場を見せていただける機会があるとありがたいなと思いますがいかがでしょうか。

(委員長)

それぞれ JR 東海様の方から、お願いします。

(JR 東海)

一つ目の交通安全教室につきましては、また時期を見て、開催を検討させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。また、掘削状況について、順調と言われれば順調ですが、先ほども古谷が申し上げた通り、なかなか山によって慎重に掘らな

ければいけない箇所もありますので、当初の計画よりも若干遅くなっているという状況ですが、今のところは大きな事象もなく、順調に行っています。

工事現場の視察につきましては、トンネル内の安全がきちんと確保できた段階で、ご案内もできるようにはしていきたいと思います。いつどこまでは今申し上げられませんが、前向きに検討していきたいと思います。

（委員長）

研修については、前も私の方からもお願いしましたが、多忙によりなかなかできなかったところであります。チャンネル・ユーでもダンプが管理されているのが流れており、対策委員の方が見れば、JR 東海さんの管理体制について信用度も上がっていくんじゃないかなと思いますので、ぜひ計画していただければ非常にありがたいなと思っておりますのでよろしくお願いします。

他にはいかがでありますか。

これで質疑を終わりにしたいと思いますので、よろしくお願いします。それでは私の方の司会はこれで閉じさせていただいて、事務局の方にお返ししますのでよろしくお願いします。

（事務局）

それでは 4 番のその他ということで、移動コンテナ局の測定結果について大蔵の方から説明をさせていただきます。

事務局より移動コンテナ局について説明

（事務局）

その他、皆様方の方からお知らせするようなことはございませんでしょうか。

5 番の閉会ということで松下副委員長お願いいたします。

（副委員長）

はい、大変な長い長時間にわたり大変ありがとうございました。

それでは、第 28 回松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会をこれで終了いたします。大変ありがとうございました。

（以上）